

曾於市 Soo CITY 話題の広場 Topics

市民の人権を守るために



1月12日、市長室で人権擁護委員の委嘱状交付式が行われました。

今回は、財部地区の人権擁護委員として高柳正充さん（写真右）が法務大臣からの委嘱状を鹿児島地方法務局都甲昇吾鹿屋支局長から交付されました。

曾於市には、各地区3人ずつの9人が人権擁護委員として委嘱され、市内で人権侵害等のないよう各種活動が展開されています。

池田市長は「人権問題をはじめ、さまざまな相談などがあると思いますが、曾於市の人権等を守るためにご尽力ください。」と話されました。

寒さに負けず疾走



1月24日、財部中央公民館周辺の周回コースで健康づくり駅伝大会が開催されました。

この大会は、陸上競技の振興や心身ともにたくましい青少年の育成などを目的に毎年開催しています。

当日は、澄みきった青空の中、小学生・中高生・女子・一般の部の4部門に51チームが参加。中央公民館周辺の周回コース、全8区間、11.4kmで健脚が競われ、沿道からは懸命に走る選手に盛んに声援が送られていました。

今回は、小学生の部で「こぐまファイターズA」が、中高生の部で「大隅中陸上部」が、女子の部で「末吉中陸上部女子」が、一般の部で「チーム・走思走愛」がそれぞれ優勝されました。

税の大切さを学びました



1月26日、財部南小学校で租税教室が開催されました。

租税教室は、曾於地区租税教育推進協議会が主体となって、将来の納税者として国を担う児童・生徒に税の意義や役割について正しく認識してもらうことを目的に開催しています。

今年度は、昨年12月の大隅北小学校を皮切りに2月の岩南小学校まで、市内の小学校12校で租税教室が開催されました。

租税教室で学んだ財部南小学校の児童は、たばこやガソリンなどが思っていたより多く税金がかかっている事や、小学生1人に対して平均850,000円税金が使われている事など、とてもびっくりしている様子でした。

森林景観美しく



1月25日、市長室で林道維持管理コンクールで日本林道協会会長賞の伝達式がありました。

この賞は、森林の整備・利用と山村の活性化に寄与する林道について、その維持管理状況の優秀な路線を、選抜して、林道の維持管理業務の推進と改善を促し、林道の保全と通行の安全確保を目的として表彰するもので、今回財部町の林道炭山谷線がこれに選ばれました。

この林道は、帯野集落と炭山谷集落の住民の生活道路としても利用されており、林道整備について地域の理解があり、林業発展にも力を入れている地域であります。

市長は、「今後も林道整備や間伐事業を積極的に取り組み、美しい森林景観を引き続き守っていききたい」と挨拶しました。

なおこの路線は、合わせて県森林林業振興大会において最優秀賞も受賞しました。

深川小児童 桜島大根の料理に挑戦



2月2日、末吉の深川小学校で食育学習を兼ねた桜島大根の調理活動がありました。

この活動は、「全校いきいき活動」と題して9月の種まきから桜島大根を大切に育て、収穫した物を調理したもので、栄養士や食改善グループの方々に教わりながら1～4年生は「大根もち」づくり、5・6年生は、「桜島大根と軟骨みそ煮」づくりと子供達は悪戦苦闘しながらも一生懸命挑戦していました。

調理の後、全校児童での食事会をしましたが、おかわりをする児童が沢山でるなどとてもいい仕上がりになったようです。

栄養士の春山やす子さんの講話では、好き嫌いなく食べる事の大事さや夢を持って頑張る事の大切さなどのお話を聞き、子供達は食を通して沢山の事を吸収できたのではないのでしょうか。

企業懇話会開催



2月4日、市内企業懇話会が開催されました。これは、市内企業の代表者や末吉・財部・岩川高校の進路担当の先生、行政・議会が情報交換等を目的に毎年開催されています。

研修視察では、霧島市隼人町にある鹿児島県工業技術センターで、最新技術の説明や、工業技術センターの研究施設などを視察し、多数の質問等で活発な意見交換が行われました。

また、情報交換会では、高校生の厳しい就職状況等や鹿児島県工業倶楽部についての情報が提供されました。

(左写真は、鹿児島市電の軌道敷の緑化にも利用されているシラスバレンを視察する関係者)

電子黒板を使った公開授業



2月5日、岩川小学校体育館で電子黒板を使った算数の公開授業がありました。

この公開授業は、「学ぶ喜びを味わう子どもの育成」を研究主題として行われたもので、個々に応じ、子どもたち一人一人が力を伸ばす指導法を研究する事を目的に行われたものです。

この授業では、先生が2人いるTT指導法を採用し、色々な考えがある子ども達に柔軟に対応できるような指導がされていました。その中で今回は、電子黒板やパネル等を使って、瞬時に分かりやすく説明している様子が印象的でした。

授業を受けた5年生の萩山央士君は、「分かりやすく、時間も短縮でき、とても楽しい授業でした。」と笑顔で話してくれました。

創作ミュージカル「大人弥五郎どん」千秋楽



劇団まつり座の創作ミュージカル「大人弥五郎どん」が、2月6日の末吉総合センターで千秋楽公演を行いました。このミュージカルは、昨年1月と2月に財部と大隅で公演を開催しましたが、訪れた観客のアンケートでも「地元に残る弥五郎どんのお話が分かりやすく表現されており、もっと多くの人に観てもらいたい。」という声が寄せられていました。

今回のこの作品は、仕事や進学などの関係からキャストが入れ替わり、昨年5月から猛練習を行ってきたもので、前回以上に演出の工夫もされており、親子連れで訪れた観客達の目を引きつけていました。

諏訪小学校1年生の末川裕気世さんは、「弥五郎どんが途中でいなくなり、心配してはらはらドキドキしたけど、とても楽しくて面白かった。」と話してくれました。